

R. H.（人間生活学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

私が留学を目指した理由は楽しく英語を勉強したいと思ったからです。私は留学に行くことを同志社女子大学に入る前から決めていました。私が同志社女子大学に入った理由の一つはどの学科からも留学制度を利用できるからです。私は、生活科学部人間生活学科で衣食住を学びたいと思うと同時に、留学もしたいと考えていたのでぴったりでした。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学決定から出発までに、まずはビザの取得を済ませました。私はパスポートの期限が切れていることに最初気づいておらずバタバタしましたが、何とかビザを取得できました。

③ 現地到着後

空港からはお兄さん(学校が手配してくれました)が車でホームステイ先まで送ってくれました。その途中に海にも連れて行ってもらい、優しい人でした。海ではエルモの格好をしたおじさんが居たり、とても楽しくこれからの生活にワクワクしていました。オリエンテーションでは日本人も多く、同じ日からスタートの新入生が沢山いたので安心しました。校内ツアーもしてくれて、語学学校の範囲はそれほど広くなく、とても分かりやすかったです。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

◆ 授業内容、課題、試験

とても綺麗で新しい施設であり、コンピューターも新しいものでした。24 時間開いている図書館、日本食料理などのレストラン、いくつかのカフェ、小さいコンビニのようなもの、ATM、少し歩けば大きなスーパーがあり、施設と立地は素晴らしかったです。バス停とトラム(電車のようなもの)の駅も近かったです。オリエンテーションでは重要な書類があるので、必ず確認する必要があります。最初のクラスは新生が多かったため、そんなに緊張しませんでした。語学学校に長く滞在している学生もいるので、困ったことがあれば気軽に聞けました。学生はアジア系が多かったですが、ヨーロッパ、南アメリカの学生もいました。学生の年齢はバラバラでしたが、レベル別にクラスが分けられるため、色々な人と交流がありました。最初のクラスのレベルは 5 だったのですが、話す機会も多く、先生も面白い授業をしてくれたため、毎日学校へ行くのが楽しいと思いました。5 週間ごとにクラス替えがあり、5 周目にはテストをして、そのテストの結果により上のレベルのクラスへあがるかそのままかが決まります。原則下のレベルのクラスへ落ちる事は無いですが、先生に相談すればクラスを下げることもできると教えてもらいました。どのクラスも多国籍で構成されており、年齢もバラバラです。中国人、日本人が多く、その他に韓国、サウジアラビア、トルコ

など多国籍でした。そのため、国で意見を交換する事が多く、日本ではどうですかのような質問を多く受けます。その際に、鯨を食べる事はないなど驚かれることが多くあります。ですが決して批判されたりする事はありませんでした。異文化理解を必ず大切にしていました。授業は朝の 8:15～12:45 の間なので毎日午後はあいていました。クラスのレベルが 6 にあがると、午後は課題をしていましたが、クラスが 5 の時は課題も少なく毎日楽しんでいました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブ活動には参加しようとして応募もしました。が、活動スケジュールを確認していき活動地へ行ってみると活動しておらず、また活動場所も立地的にあまりよくなかったため、クラブ活動はやめました。

⑥ 現地での住まいについて

ホームステイ先は留学生をよく受け入れている家であったので、とても過ごしやすかったです。食事もおいしく、スパゲッティやお肉をよく出してくれました。食べられないものなどを先に伝えると、その食材を避けて作ってくれたので、とても満足な料理ばかりでした。ホームステイ先から学校へは初日は車で連れて行ってもらい、交通カードを買ったあとはバスで通学していました。通学方法もホストファミリーに教えてもらいました。通学時間は 45 分ほどでした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

留学中に楽しかった事は、学校が開催してくれるアクティビティです。色々なアクティビティがありました。例えば、スポーツ、散歩、バーベキューそしてクジラウォッチングなどがあります。語学学校の学生も多く参加するため、友達を作るいい機会でした。特に、クジラウォッチングなどは、安く券が買えるのでとてもお得です。カフェチャットは、飲み物を無料で貰え、学生同士でお題について話し合うというものでした。レベルの高い学生とも交流ができるので良い勉強にもなります。それと、オーストラリアの留学中に、ニュージーランドへ旅行に行ったことも楽しかったです。ニュージーランドへはビザがいらないので気軽に行けます。語学学校終了後にメルボルンへも行ったのですが、同じオーストラリアでも全く雰囲気や景色が違いました。ゴールドコーストは自然が豊かで、メルボルンは大都会でした。そして、メルボルンの動物園にはカモノハシがいます。カモノハシは日本の動物園にはいないため、とても最高の体験でした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学中に辛かった事は、特にありません。課題に追われる日々もありましたが、何とか耐えました。ご飯も美味しく、人々も優しいです。一度だけ、上半身裸で踊りながら歩いてくる不審者がいましたが、道が広かったので無事に避けました。トラブルはあまり起こりませんでした。ホームステイ先もホストマザーがとても優しく毎日平和に過ごせました。ご飯も美味しかったです。

③ 文化・習慣などの違いで驚いたこと

文化の違いの面では、驚く事が多くありました。一時期、イスラム系の人たちがラマダーン(断食)を行っており、太陽が出ている間は水も食事も一切口にしていませんでした。もちろんその時期は先生も気づかい、授業中に料理の画像を使ったり話題にもしませんでした。彼らは宗教をととても信仰していて、私が今まで思っていた宗教観よりもとても強いものなのだと感じました。その他にも牛肉を食べない宗派などもあるため、バーベキューなどの会では気をつけていました。宗教は本当に大事なものであるため、軽い気持ちで間違いをしないように気をつけなければならないです。

Ⅲ. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンはとても役に立ちました。ppt を作ってプレゼンテーションをするため、必ず必要になります。学校にもパソコンはありますが、ホームステイ先に夜ご飯までに帰るのが大事なので、パソコンは必ず持っていくべきです。USB も必要になります。あと、変換プラグは家に置いておくものと一つ持ち運び用に持っていました。現地にも何でも売ってあるのでそんなに心配になる必要はないですが、モバイルバッテリーや電子機器類は日本のものを使ったほうが良いと思います。それと、海外対応のドライヤーやアイロンなどでないと、火災や漏電に繋がる危険があります。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は特にスピーキングの力が向上しました。なぜなら話す機会が本当に多いからです。街中で急に世間話をする事もあります。私はウーバーを使うことが多かったのですが、ウーバーの車内でよく会話をしていました。もちろん全体的な英語力も向上します。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

私は留学前にもっと日本について勉強しておけば良かったと思いました。授業中に日本はどうなの？と聞かれる事が多く、わからない質問もいくつかありました。日本の最も多く電力を作っている発電方法は？や、日本の環境問題はどうかかなどです。これから留学する人は、日本のことを少しでも勉強して行けば、聞かれたときに困らないと思うので、是非勉強してほしいです。

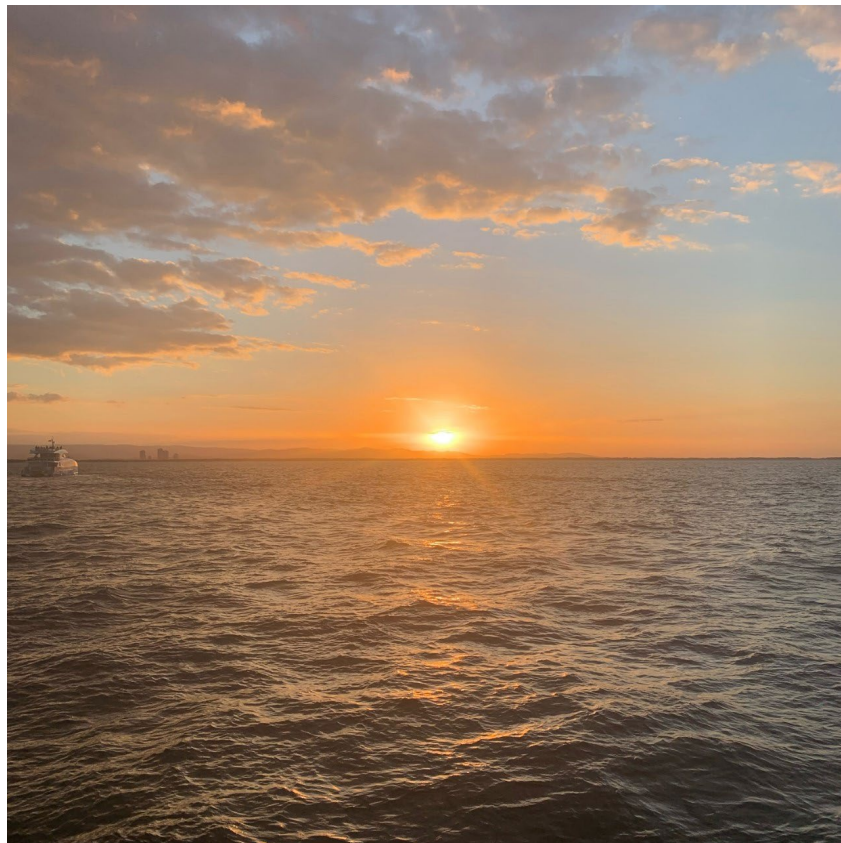
Ⅳ. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

将来の目標としては、大学卒業までに TOEIC800 点を取ることです。正直今の点数は高くないですが、文法を勉強してがんばりたいです。それと、英語を必要とする会社につきたいなと思います。多くの会社がグローバル化しているため、英語は必要になると思いますが、英語を話せなくなるということは避けたいため、英語を喋る環境を保ち続けたいと

思います。どの企業につくとかはまだ決めていませんが、大学生活を過ごしていく中でアルバイトなども体験し、自分に合った職業につきたいと考えています。そして、オーストラリアへ行って海外の面白さをとても感じたので、色々な国へ行って、その国々の文化について知りたいと思いました。そのため、死ぬまでに多くの国を訪問したいです。私は動物が好きなので、多くの野生の動物、その国の動物に会いたいと思います。今一番行きたいところはマダガスカルです。世界中を旅する事で考え方も広がるだろうし、環境問題、地球についても知れます。日本に閉じこもるのは私はとても勿体無いと感じます。そのため、1年に一度は海外へ行くように心がけます。死ぬまでに 100 の国へ行けたら良いなと思います。そして、語学学校でできた友達ともう一度会う機会を作りたいです。語学学校での友達は多文化でそれぞれ面白い個性を持っていたため、一生の友達として大事にしたいです。

V. 写真



この写真はクジラウォッチングへ行った時に目にした夕日です。本当にオレンジできれいな夕日でした。オーストラリアの空と日本の空は異なっており、オーストラリアの方は月が低いほうにあります。そのような自然の違いもすごく面白く感じました。クジラウォッチングで見た夕日は今まで見た中で最高の夕日でした。このようなオレンジ色のほかに、ピンク色や紫色の空になる時もありました。



この写真は、メルボルンに旅行に行った際に機関車に乗った時の写真です。メルボルンはとても寒く、ゴールドコーストよりも都会でした。オーストラリアは広いので色々な顔をもっています。その色々な場所に気軽に行けるので、とても楽しい思い出になりました。この機関車は、メルボルンの有名な観光地で伝統的な機関車に乗って、危ない橋を渡りながら自然を楽しむというものでした。最高の思い出です。隣に乗っていたおばちゃんとも仲良くなりました。

N. N.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

入学時から留学することを考えていました。理由は、いろんな国の方とコミュニケーションすることで、価値観や文化の違いを理解することができるようになりたかったからです。また、留学経験が自分の将来の夢を決めるきっかけになればいいなと思いました。

② 留学決定から出発までの準備期間

ビザ申請が一番大変でした。申請後は1日で取得できたのでそこは問題ありませんでしたが、申請するためにたくさんの情報を記入しなければならないのでそれに時間がかかりました。提出物には親の印鑑や署名が必要なものもあるので、一人暮らしの方はなるべく早く取り掛かることをおすすめします。SIM カードは向こうの空港やスーパーマーケットに売っているので心配ないです（ちなみに私は **vodafone** の SIM カードを使っていました。5 か月間で1 万円程でした）。

③ 現地到着後

空港に着くと、送迎サービスの方が私たちの名前が書かれた紙を持って待っていてくれました。空港内は人がたくさんいましたがすぐにわかりました。とても優しい方で冷たい水をくれました。きれいなビーチの前に車を止めてくれたりもしました。オリエンテーションではたくさんの友達ができました。先生の説明もわかりやすく、学校内ツアーをしたので初日で大体の施設の場所を大まかに覚えることができました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

施設内はとてもきれいで近くにカフェがあります。治安も良くて快適に過ごせます。スタッフの方はみんな優しいです。わからないこと、不安なことがあればいつでも質問できるコーナーがあるので安心です。

◆ 授業内容、課題、試験

私は DEP6（1 番高いレベル）の授業しか受けていないのですが、クラス替えが5 週間に1 回あります。大きな課題が3 つあって宿題も先生によって異なりますが、ほかのクラスより多く感じました。プレゼンもあります。試験は英語4 技能分あります。授業内容は少しアカデミックで、単語も少し難しいので復習が必要です。慣れれば余裕が出てきてより授業を楽しめます。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

GELI（語学研修機関）ではたくさんのアクティビティがあり、友達を作れる絶好のチャンスなので参加することを勧めます。無料で参加できるものもたくさんあります。私はゴールドコーストマラソンのボランティアに参加しました。現地の方とたくさん交流できました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホストファミリーはアジア系の方で、料理がとてもおいしかったです。日本食もたまに作ってくれました。毎日家族そろってご飯を食べていたので、ディナータイムが待ち遠しかったです。相談もたくさん乗ってもらいました。とても優しい方で家もきれいだったので、なんの不満もなく過ごせました。通学時間は30分程で、バスで通っていました。私の家からはどこにでもアクセスが良かったです。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇はありませんでした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

他国の友達といろんなところに遊びに行ったのが一番の思い出です。特にスプリングブルック国立公園では友達の手で絶景を見に行ったり、土ボタルを見たりなど、忘れることができない経験をしました。みんなとても面白くて言葉の壁を感じる事がほとんどありませんでした。また、ボランティアとして参加したゴールドコーストマラソンは現地の方と関わることができ、みんなで協力してボランティアを成功させたことは本当に忘れがたい思い出です。私的には、日常の学校生活が一番楽しかったです。授業もみんなからいい刺激をもらいながら英語学習を楽しむことができました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

ホームシックにはなりませんが、語学力が伸びない初めのうちは自分の意思を思うように伝えることができず、ストレスを感じました。クラスのレベルがいきなり高く、周りとの差を感じたので慣れるまでの期間が一番しんどかったです。

③ 文化・習慣などの違いで驚いたこと

OZはとにかく早寝早起き生活です。したがって晩御飯を食べたらお風呂に入ってすぐ寝る準備をする習慣があるので、帰宅時間が遅いときはホストファミリーに迷惑をかけないように注意する必要があります。また、バスに乗るときは手を上げなければ止まってくれません。私は初日に手を上げ忘れて乗り損ねました。

III. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

ホッチキス（意外と使います）、パソコン（学校にもありますが、あると便利）、USB、水筒、クリアファイル、ホストファミリーへのお土産（私はお菓子と筆記用具を持っていきました）

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

英語を話すことに躊躇がなくなりました。Listening力が一番伸びたように感じます。留

学前より物事をはっきり言えるようになりました。視野も広がったように感じます。何よりこの留学経験が自分の大学生活の財産になりました。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

5 か月間は本当にあっという間です。留学していれば自然と英語を話せるようになるという考えは大間違いで、自分から進んでアクションを起こさないとただの長期旅行になってしまうと思います。不安な時はついつい日本人同士で固まってしまうがちですが、そこは一步勇気を出して日本人以外の友達をたくさん作ってください。みんなネイティブスピーカーではないので、間違いを恐れる必要はありません。自分の努力次第で留学生活は期待以上のものになると思います。やる気のある学生には先生も全力でサポートしてくれますし、自然と友達もできると思います。ゴールドコーストは最高の留学先です。ぜひ自分の目標をしっかりと持って実りある留学生活にしてください。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

今はエアライン業界を目指しているので、今後は就職活動に向けて準備を始めたいです。在学中に TOEIC800 点を取得できるようによりレベルの高い英語学習をします。

V. 写真



これは Miami market に行った時の写真です。いろんな国の料理が売られています。私は一緒に行った友達の国の料理を食べました。日本食は焼きそばを食べました。大好評でした。Music コンサートもしていて、とてもにぎわっていました。バスで行ける場所なのでぜひ行ってみてください。



これはゴールドコーストマラソンのボランティアに参加した時の写真です。活動内容は、走り終わったランナーたちにメダルと大会Tシャツを渡すことでした。裏方の作業でありながらもなかなかハードでしたが、現地の方々からすごく感謝されたのでとてもいい思い出になりました。GELIのアクティビティは本当にどれも楽しいのでたくさん参加してみてください。